

会 議 録

会議名	平成23年度第2回小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成23年5月24日(火) 19時05分～21時30分	
開催場所	802会議室	
出席者	委員	高橋委員長、鴨下副委員長、水谷委員、原島委員、齋藤委員、三井委員、中山(岳)委員、曾我委員、深澤委員、小澤委員、仙澤委員、中山(恵)委員。
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 配布資料の確認 (2) 前回の会議録確認 (3) 学童保育の保育内容について (4) その他 3 閉会	
会議結果	(1) 配布資料の確認 ・前回の会議録 ・小金井市放課後児童健全育成事業学童保育所運営基準(改訂版)(案) ・平成22年度学童保育所アンケート調査書集計 (2) 前回の会議録確認 ・市のホームページに公表させていただきたい。特になければ、これで確定する。 (市) (3) 学童保育の保育内容について ア. 新市長の考え ・まず平成22年度に提案した2カ所の委託をリセットする。一方で課題はあるのでその解決方法を検討していく。その中で運営方法も協議していくことになる。学童保育の運営については職員間の実務検討会でも引き続き検討し、十分職員と協議した上でスケジューリングしていく。(市) ・朝の8時半の開所に向けて、児童青少年課内で実施方法を検討している最中。実施時期は確約出来ないが実施出来る方向だと認識していただければと思う。進めていく中で皆様にもこういう方法というのがあれば意見をいただきたい。3月に学保連から提出された要望書への回答はこの口頭報告で回答といたしたい。現実的な協議を進めていったほうがよいかと思っている。 ・必要であれば協議会を臨時で行うこともありうる。(学)	

- ・そこはお願いしたいと考える。(市)

イ. 運営基準

- ・運営基準改定(案)を示した。ご意見をいただければと思う。(市)
- ・「保育内容」について、資料19にあった表紙もつけるようになっていたが、このままでは違和感ある。別冊にしたほうがわかりやすいのか、とも感じている。(市)
- ・別冊にするのがベターな気がするが。(学)
- ・資料19を保育指針として格上げしようという経緯があったが、最終的には組み込んだ。別冊にしたらこの位置づけが難しい。保育指針ではない、と整理した。(学)
- ・体裁を整えるということであれば表紙はないほうがよい。(学)
- ・運営基準の中に「保育内容」を盛り込んだ形でよいか。(市)
- ・「はじめに」この文章もどうするか。(市)
- ・保育理念の追加、保育内容を変えたことを明記することがよい。(学)
- ・市民の意見も取り入れたことも記載したほうがよい。(市)
- ・「改訂にあたって」の文章を別に付け足すこともありうる。(学)
- ・「改訂にあたって」の文章は市側で出したほうがよいか。(市)
- ・発行母体は市なので、市に任せたい。学保連側も協力していく。(学)
- ・以前の協議会委員にも確認をさせたい。(学)
- ・「改訂にあたって」後日、方向性を出す。(市)
- ・障害児の「害」の漢字表記についてどう考えているか。(学)
- ・基準は漢字表記にしている。保育内容は平仮名表記だが違うところからスタートしたので別々になっている。(市)
- ・法律用語は漢字表記になっている。(市)
- ・子どもに関する言葉なので、平仮名表記にしてもらいたい。(学)
- ・見直しの段階でも意見は出た。結論としては、漢字表記で行くことになった。(市)
- ・パンフレットのものは平仮名表記になっているものもある。(学)
- ・平仮名表記が望ましいということで、確認してみる。(市)
- ・P16 緊急時の対応に関して、先日の大震災時の対応は十分であったか。電話が通じなかったのは想定外だった。今後の課題である。(学)
- ・災害対策本部の指揮下に入り、課長の指示にしたがった。ただ計画に定める震度ではなかった。学校の対応はバラツキがあったようだ。(市)
- ・基準の7(1)アの「警戒宣言」だけというのはどうかと思う。(学)
- ・再度学保連側で全体的に精査し、修正点、変更点などまとめたものを後日挙げることを提案する。(学)
- ・たけとんぼとさくらなみの定員に関して、条例改正はいつ頃か。(学)
- ・9月頃になるのではないか。(市)

・次回までに意見を挙げるようにする。(学)

ウ. 学童保育所アンケート

・この活用方法をどうするか協議したい。課題解決に向けて参考になる数字ではある。後半の意見の部分は協議会内での認識としてほしい。(市)

・一時保育の実施を要望する意見は思ったよりある。ただ、職員体制を心配する声もある。(学)

・そもそも一時保育を実施しようとした発端は何だったのか。(学)

・児福審の答申に入っていたが、委託のための口実に持ってきたような気がする。一時保育を学童の事業でやるべきか。別事業として実施すれば必要な声は吸収できると思う。(学)

・今のままでは職員配置、設備の問題がある。(学)

・定員に空きがある場合、職員配置、設備の問題はクリアできる。(市)

・集団作りの視点ではどうか。(学)

・国分寺は学童で夏休み期間に受け入れている。他の子どもへの影響もそれほどないと聞く。ハレーションが起きるかどうかなど検討する必要もある。(市)

・過去5年分ぐらい夏季休業中の出席率を見れば検討する可能性もある。(学)

・一時保育のアンケートはニーズ調査になっていないので、実施に向けて検討するのは難しい。(学)

・夏休み午前だけ預かってもらえないか、という問い合わせはある。(市)

・児福審の時にニーズ調査はあったのか。(学)

・のびゆく子どもプラン策定の時にあった声が、児福審に反映されたと思う。(市)

・一時保育が保育理念のもと実施出来るかどうか確認しなくてはならない。(学)

・集計部分だけでも公表できないか。フィードバックしてほしい意見もある。(学)

・利用者ばかり手厚くするのではなく、夏休みの午前だけでも入れてほしい、と利用者以外の声も上がってきている。(市)

・学童で何もかもカバーするのは厳しい。(学)

・今は預け先が学童しかないので学童にしか言うところがない。別事業として空き教室等使用して受け入れ先があると、学童に言ってくる人はいなくなる。周りの意見も整理しなくてはならない。(学)

・武蔵野の放課後子ども事業「あそべえ」等は充実している。保育に欠ける子、遊び場に欠ける子に対してサービスがバランスよく提供できるのでは。(学)

・毎日行う放課後子ども事業は指導員も注目していた。小金井市の内容は当初考えられていたスタイルとは違うようだ。(市)

・充実していれば、今の学童は変わる必要ないと思う。(学)

- ・別事業として検討してほしい協議会の考え方を挙げるのは構わないのでは。(学)
- ・利用者へのフィードバックについて、このまま数字だけを出すことは危険ではないか。(学)
- ・簡単なコメントをつける方向で考える。(市)

(4) その他

- ・朝の時間延長について、ネックになりそうなことは何か。(学)
 - ・指導員が作った案では、予算の問題があった。(市)
 - ・もう一度制約なしに検討することになっている。これから柔軟な案が出るかもしれない。(市)
- ・次回6/28(火)19時～。802会議室。